

名物、名所が続々仲間入り



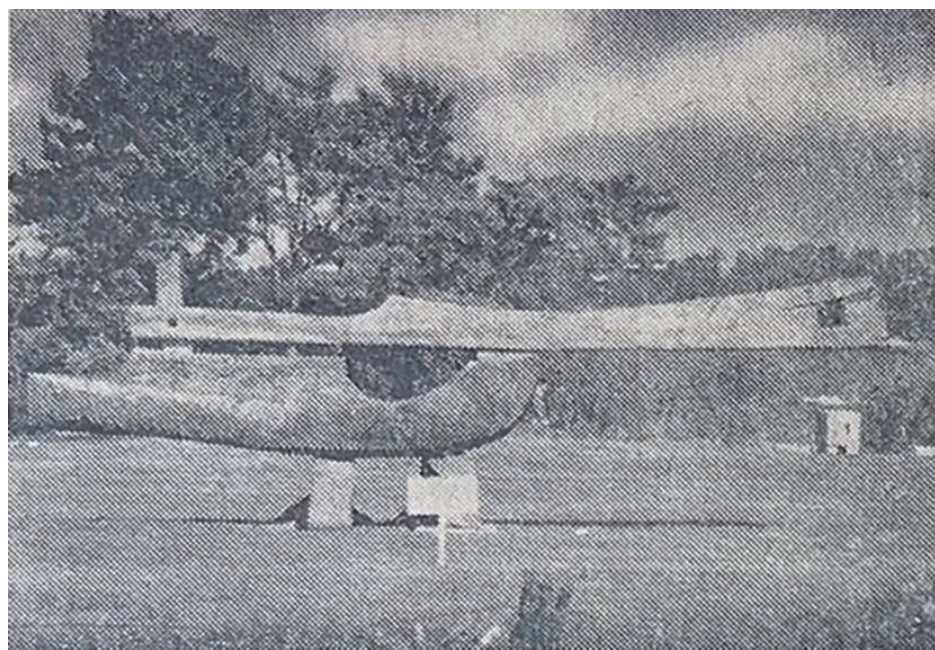
当時の新聞記事で振り返る
ときわ公園タイムズ
Tokiwa Park Times
その4
1965年(昭和40年)10月1日
1969年(昭和44年)11月1日

大賞は江口氏の砂上やぐら

国内最高水準示す52点
現代日本彫刻展が開幕

1965年(昭和40年)10月1日

常盤公園内の宇部市野外彫刻美術館で、わが国美術史上画期的な「第一回現代日本彫刻展」が開幕した。出品作品は全国各地で催された各種団体展、グループ展、個展などで優秀作品となった彫刻家44人による計52点が展示され、日本彫刻界の最高水準を示す内容となっている。同展は、宇部市を「ヨーロッパのような彫刻のある街」という市民の熱意とも調和し、大きな注目を集めている。開幕に先立ち行われた審査会では、美術評論家や建築家、彫刻家ら10人によって審査が行われ、大賞の宇部興産株式会社賞(賞金40万円)は、江口週氏の「砂上やぐら」木製IIが受賞。また、その他8点の入賞作も選ばれた。



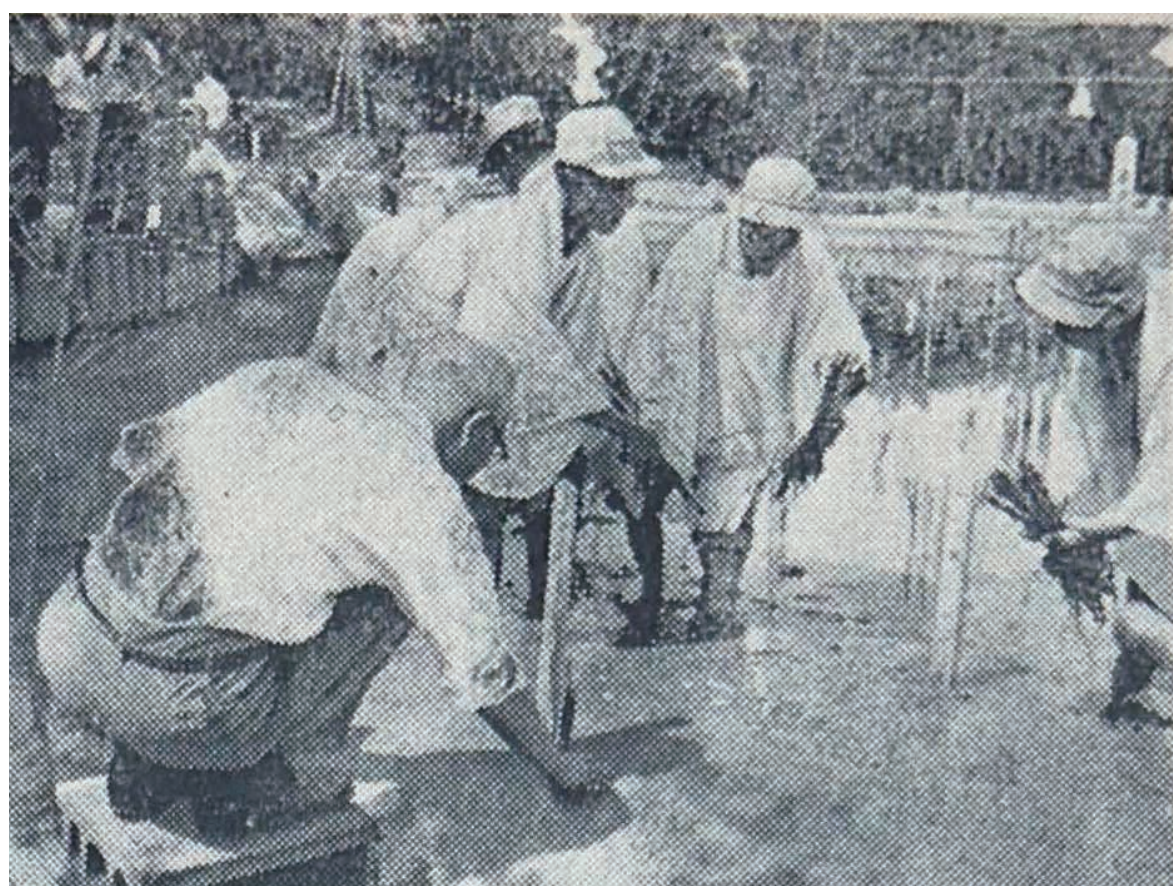
しょうぶ苑完成式

常盤公園に新名所誕生

1966年(昭和41年)7月29日

常盤公園内に整備された「しょうぶ苑」の完成式が現地で行

われ、星出市長をはじめ多くの関係者が新名所の誕生を祝った。式では神事「お田植の儀」も行われ、市長が東京花しょうぶの一種「神代の粧」をしっかりと植え付けた。



苑は約6202平方メートルで、池を囲むように六つのしょうぶ田が整備され、苑路やカヤぶきのあずまやで休憩するという和風な趣向になっている。植栽されたしょうぶは計55種6350株で、3〜4年後に本格的な見ごろを迎える予定。

ときわの新名所完成

明治百年記念造園 厳かに植樹祭

1968年(昭和43年)4月23日

常盤公園東側入口に整備された「明治百年記念造園」の植樹祭が、関係者約70人を集めて厳かに開催された。式では、祝詞に次いで星出緑化推進委員長の玉串奉典、市会議長や緑化推進委員長、個人・団体寄付者、奉仕団体、校区代表らが玉串を奉典。続いて同造園の上田理事長が造園の経過を報告し、協力した個人や団体に感謝状が贈られ

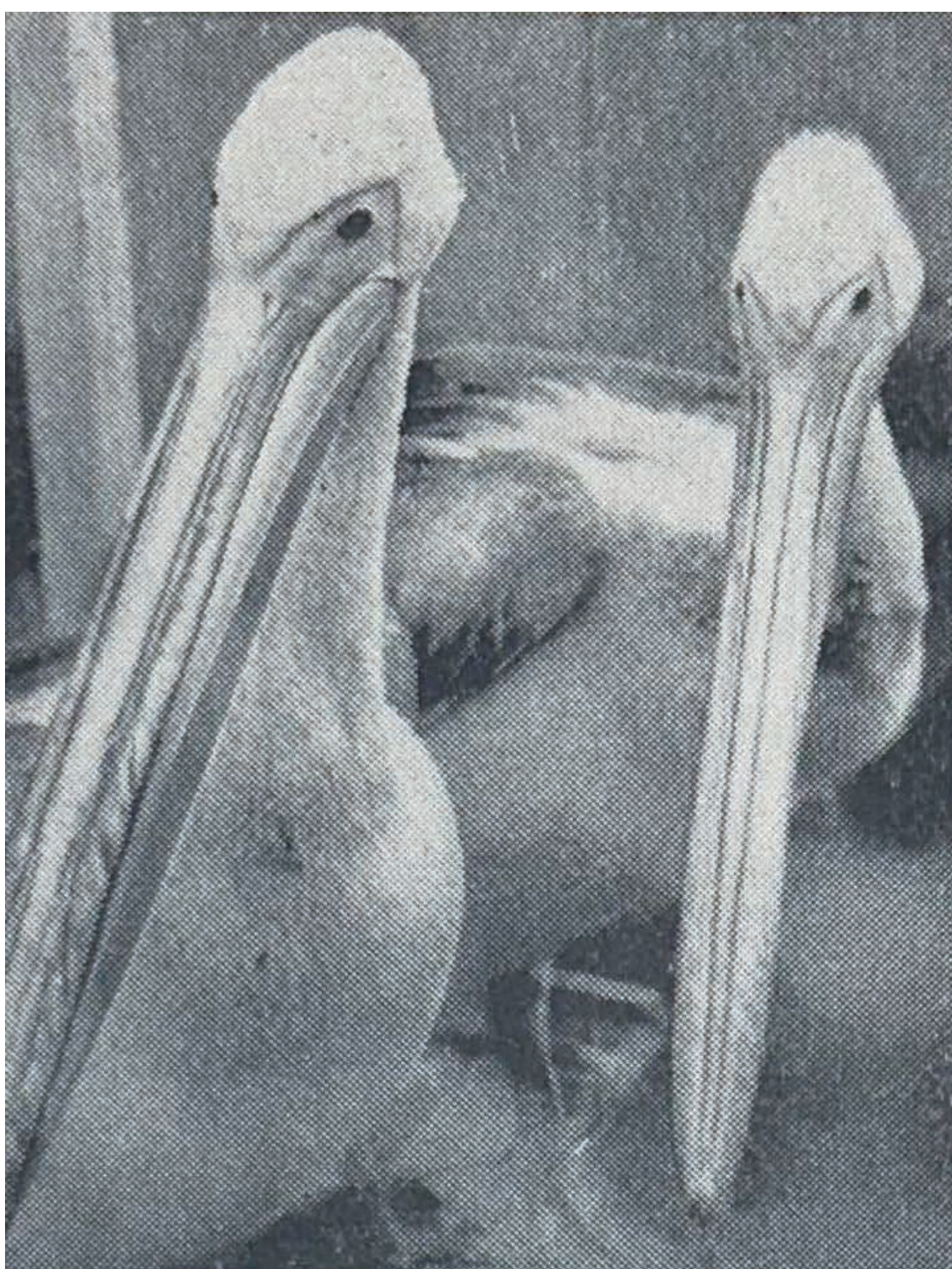


た。星出市長は「この造園は、市民の緑と美への愛の結晶であり、今後とも丁寧な手入れで宇部市の誇る緑の地としてのあいさつした。式後には園内の視察も行われた。

常盤湖に名物がまた一つ

インド産の桃色ペリカン2羽

宇部市常盤自然公園内にペリカンを放養する計画が進められ、この程インド産の桃色ペリカン2羽が、ときわ遊園におめえ、大きなクチバシで愛嬌をふりましている。このペリ



1967年(昭和42年)2月9日

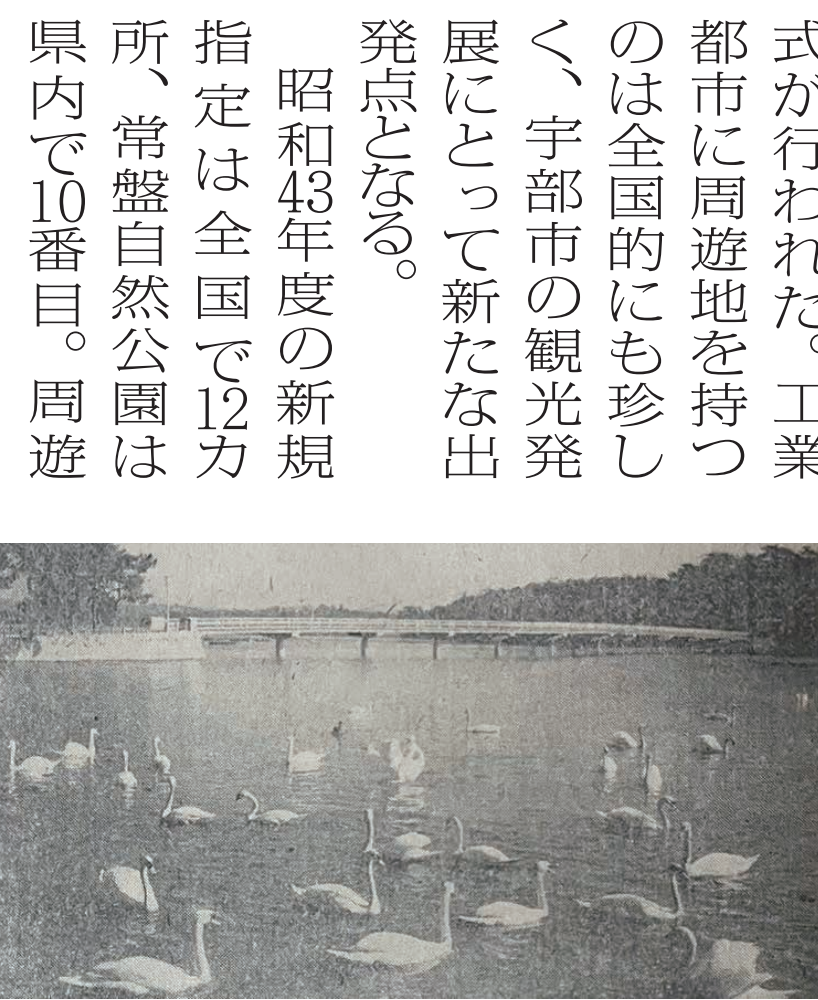
常盤自然公園・国鉄周遊地に指定

全国的な観光地へ

県下では常盤公園が10番目 記念披露式

1968年(昭和43年)7月31日

観光地「常盤自然公園」が国鉄の周遊地に指定され、全国的な観光地として正式に認められた。これを記念し、公園内のときわ食堂で披露式が行われた。工業都市に周遊地を持つのは全国的にも珍しく、宇部市の観光発展にとって新たな出発点となる。



初日は18人が宿泊

国民宿舎「常盤荘」の完工式

1968年(昭和43年)10月2日

国鉄の周遊指定地となった常盤公園内の市営有料駐車場東側に、国民宿舎「常盤荘」が完成し、完工式が関係者約150人を招いて開かれ



が祝辞を述べた。宿舎は地下1階・地上3階建てで、総工費は約6640万円。21室あり最大100人を収容できる。宿泊料金は1泊2食付きで大人1100円。開業初日は市内から18人が宿泊し、すでに800人以上の予約が入るなど順調なスタートとなった。完工式では施工業者に感謝状が贈られ、市長や関係者らが祝辞を述べた。

明治時代の世情を再現

明治百年を記念する大菊花ショー開く



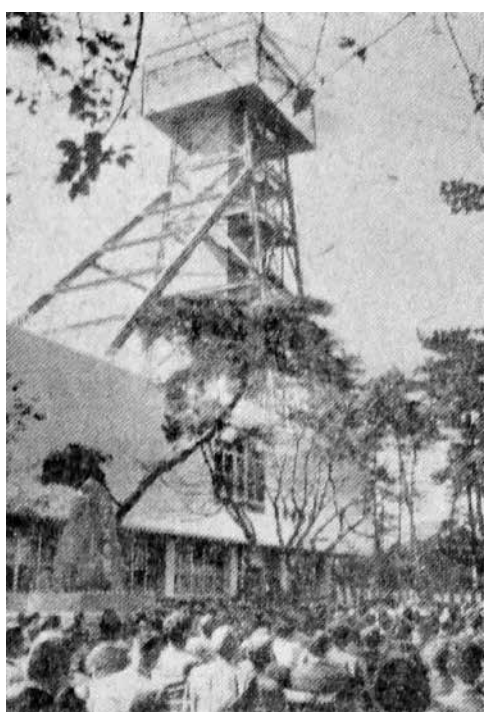
常盤遊園の恒例「大菊花ショー」が明治百年を記念して開幕し、華やかに一般公開された。会場には池坊や草月流による「菊花館」や、「断髪令」や「明治憲法発布」など明治時代の風俗を再現した「菊人形館」が登場。世界80カ国から集めた児童画を展示する「世界児童画展」も同時開催され、教育的要素も盛り込まれている。約3000鉢の多彩な菊が並ぶ大菊花壇や、県・市のコンクールも予定されており、来園者は10万人を見込む。

1968年(昭和43年)10月2日

喜びの石炭記念館完工式 眼前に展開した石炭史

西田市長ら ティーフカット 一般公開あすから

石炭の恩恵と歴史を後世に伝えるため、日本初の「石炭記念館」が常盤公園内に完成し、盛大な完工式が開かれた。式に



記念館は総工費800万円、市民の浄財も活用して建設され

た。館内には、宇部炭田の発展を示す模型や古文書、採掘機械など約500点が展示されており、石炭産業の歩みをわかりやすく紹介。また、移設された旧東見初炭鉱の巻上機タワーは高さ37メートルで、展望も楽しめる。

1969年(昭和44年)11月1日